

ほんばこ



No. **72**

日本教育会館 附設 教育図書館通信

復刊第 72 号（通巻第 88 号）

2025 年 7 月 24 日発行

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2

日本教育会館 5 F

教 育 図 書 館

Tel/Fax : 03 (3230) 4437

Mail : toshokan32304437@jec.or.jp

<https://www.jec.or.jp/tosho/>

● 目 次 ●

- ◆ 戦後 80 年…教育図書館の平和資料ご紹介 2 ～ 3 p
- ◆ 平和資料 一覧 （出版年順） 4 ～ 7 p
- ◆ 教育図書館のご案内 8 p

戦後80年…教育図書館の平和資料ご紹介

今年は戦後80年という節目にあたります。日本教育会館附設教育図書館のこれまで、平和資料コーナー、教育図書館の平和資料についてご紹介します。

日本教育会館附設教育図書館のこれまで

教育図書館は日本教職員組合、国民教育研究所、財団法人日本教育会館の共同設立により1966年10月に発足、12月1日に開館しました。

現在の日本教育会館の建物は、1977年3月に完成、同年12月に教育図書館を8階に開設、閲覧・貸出などの業務を行いました。1986年から、図書館を地域へ開放し、親しみをもってもらうため、「子ども図書コーナー」を開設しましたが、神保町一帯の土地ブームの中、移転する地域住民が増え、少子化等の影響もあり1995年3月に閉鎖となりました。また、8階では、会議室に隣接していたことから、喫煙、騒音などの問題がありました。1994年2月、現在の場所に教育図書館が移転しました。

平和資料コーナー

1995年9月、戦後50年という節目にあたり、日教組の「戦後50年と日本の教育」プロジェクトの一環として、日教組との共同で「平和資料コーナー」を設置しました。

その後九段下周辺には、1999年3月に昭和館（昭和の時代に国民が経験した戦争の記憶を継承し、…略…、その労苦を次世代へ伝える国立の施設）2006年3月にしょうけいかん（戦傷病者史料館）が開館、2000年11月に平和祈念展示資料館が新宿に開館しています。

教育図書館の平和資料

「一口に平和資料といいましても、県・高教組などがまとめた広島・長崎、沖縄戦などの教育実践記録・継承論、戦争体験記から、反核・平和運動資料、文学作品など内容は多岐にわたっています。」 『ほんばこ』（復刊第1号1995年10月発行）より

平和資料として現在約2,800冊の蔵書があります。2025年5月から図書館前に掲示したものは、戦争を知るきっかけになる最近の出版物『甦る戦災樹木』などからです。一部をご紹介します、一覧とします。

『甦る戦災樹木』 空襲などで焼失したエリアにある、燃えたり傷ついたりした痕跡を残している樹木の調査を通して歴史を伝えています。著者は、執筆にあたり『東京大空襲・戦災誌』1～5巻、『日本の空襲』1～10巻を参考にしています。

『**沖縄の戦争遺跡**』 著者は、「初めて具志頭村のガラビ壕に入った時の衝撃は忘れない。久米島高校で新卒の高校教師として教育実践に悪戦苦闘していた1974年、組合主催の戦跡めぐりに参加したのだ。しかし衝撃は受けたが、戦争遺跡を平和教育の柱に据えて本格的に実践するには至らなかった。」と序文に記しています。その後、ガイドの実践や調査、ガイドブックの作成にも携わり、1988年に『南風原陸軍病院』の編集者となっています。

『**東京の戦争と平和を歩く**』 戦争遺跡やモニュメントなどの「モノ」を通して、東京の近現代のあゆみを戦争と平和の視点から探ったもので、「東京ドームシティ」一帯は東京砲兵工廠の敷地であったことなど記されています。

『**文芸銃後運動講演集**』 菊池寛の発案によって1940年から文芸家協会講演行脚をまとめられ、無料で頒布されました。小林秀雄・石川達三・林芙美子・尾崎士郎・火野葦平など錚々たる作家の講演集です。『宮本三郎南方従軍画集』、『空襲下の救護法』なども、戦時中の貴重な出版物です。

『**はるかなる山河に**』 東大戦歿学生の手記は、1947年の出版で、序文として南原繁の「戦没学生にささぐ」が書かれています。

『**原爆の子**』 地球上最初に原爆の炸裂を浴びた「広島の子供たち」のうったえです。編者は教育学者の立場から「平和のための教育」研究の資料として集めましたが、それらを読む中で、『人々の前に「生のままの材料」として提供すべきではないかと考えた』とあります。そのうったえの一部をここに引用いたします。

「私は、戦争のことを考えたり、原子爆弾の落ちた日のことを思い出すことは、ほんとうにきらいです。ご本を読んでも、戦争のところはぬかして読んでいます。映画のニュースで、朝鮮戦争の場面がでてくると、ぞっとします。学校の宿題がでましたので、いやいやながら、こわごわ思い出して書きます。」

『**記録写真 原爆の長崎**』 1945年8月9日午前11時2分、長崎に原子爆弾が投下されました。その翌日、西部軍報道部カメラマン山端庸介氏は、原爆直後の長崎を115枚の写真に記録しました。巻末の原爆撮影メモには、8年を経て世に発表されることに感慨無量の思い、敵対宣伝に役立つ撮影の命令などが記されています。また、1995年に、出版された『長崎よみがえる原爆写真』には、フィルムのコピーを軍やGHQに渡すことなく保存していた経緯や、被写体になった人々のその後が書かれています。

平和資料 一覧 (出版年順)

書 名	編 著 者	出 版 者	出版年
文芸銃後運動講演集	文芸家協会／編	文芸家協会	1941
大日向村：文部省推薦開拓文学叢書	和田 伝／著	朝日新聞社	1941
宮本三郎南方従軍画集	宮本 三郎／著	陸軍美術協会出版部	1944
空襲下の救護法	東京都青少年団／編	富永興文堂	1944
はるかなる山河に：東大戦歿学生の手記	東大学生自治会戦歿学生手記編集委員会／編	東大協同組合出版部	1947
ヒロシマ	ジョン ハーシー／著	法政大学出版局	1949
冬空の記録：南樺太抑留生活の報告	新庄 成吉／著	川崎書店	1949
この子を残して	永井 隆／著	大日本雄弁会講談社	1949. 6
わだつみのこえに応える	東京大学出版会編集部	東京大学出版会	1950
日本の俘虜はソ連でどんな生活をしたか	竹内 錦司／著	光文社	1950
戦争と世界平和	読売新聞社科学部／編	国民教育社	1950
平和の宣言	南原 繁／著	東京大学出版部	1951
平和の創造	上原 専禄／著	理論社	1951
めばえ：子供と教師の平和記録	岩手県教員組合／編	岩手県教員組合	1951
われらかく育てり：戦災児童の手記	積 惟勝／編	新興出版社	1951
原爆の子：広島の子の少女のうた	長田 新／編	岩波書店	1951
平和と教育	勝田 守一／著	刀江書院	1952
記録写真 原爆の長崎	北島 宗人／編輯	第一出版社	1952. 8
あすの朝「九時」：戦犯死刑者の遺言集	湯川 洋蔵／編	日本週報社	1952. 11
あれから七年：学徒戦犯の獄中からの手紙	飯塚 浩二／編	光文社	1953
モンテンルパに祈る：比島戦犯死刑囚と共に	加賀尾 秀忍／著	富士書苑	1953
原爆の子にこたえて	長田 新／編	牧書店	1953
基地日本：うしなわれいく祖国のすがた	猪俣 浩三ほか／編著	和光社	1953
基地の子：この事実をどう考えたらよいか	清水 幾太郎ほか／編	光文社	1953

書 名	編 著 者	出 版 者	出版年
星は見ている：全滅した広島一中一年生・父母の手記集	秋田 正之ほか／編	鱒書房	1954
写真でみる原爆の記録	手島 毅／編	原水爆資料保存会	1956
戦争と教育の記録	山形県教職員組合西置賜地区支部／編	山形県教職員組合西置賜地区支部	1957
山形の教育：学校白書と戦争教育の記録	山形県教員組合／編	山形県教員組合	1958. 1
さいたまの教育：戦争と教育の記録	埼玉県教職員組合／編	埼玉県教職員組合	1959
花のない墓標：進駐軍による日本人虐殺の記録	新井 鉦一郎／著	理論社	1959
長崎の鐘はほほえむ	永井 誠一／著	知性社	1959
みんなみの巖のはてに：沖縄の遺書	金城 和彦／編 小原 正雄／編	光文社	1959
ひき裂かれて	鶴見 和子／編	筑摩書房	1959
橙色の空	全鉦主婦協議会／編	全鉦主婦協議会	1959
学童疎開の記録	目黒区月光原小学校編	未来社	1960
ことごとくの声あげて	山形県教職員組合最上支部青年部／編	山形県教職員組合最上支部青年部	1961
生ける屍：ソ連獄窓十一年の記録 1、3巻（2巻欠）	前野 茂／著	春秋社	1961
悪石島：疎開船学童死のドキュメント	大城 立裕ほか著	文林書房	1961
広がる波紋 ：「戦没農民兵士の手紙」の反響	岩手県農村文化懇談会／編	岩手県農村文化懇談会	1962
流れる星は生きている	藤原 てい／著	東都書房	1964
石ころに語る母たち ：農村婦人の戦争体験	小原 徳志／編	未来社	1964
原爆体験記	広島市原爆体験記刊行会	朝日新聞社	1965
昭和戦争文学全集 1－15	昭和戦争文学全集編集委員会／編	集英社	1965
この世界の片隅で	山代 巴／編	岩波書店	1965. 7
墓標なき八万の死者	角田 房子／著	番町書房	1967
日本人への遺書	安田 武／編	大光社	1967
原爆・五〇〇人の証言	朝日新聞社／編	朝日新聞社	1967
原爆の図	丸木 位里／作	田園書房	1967
ヒロシマの証言	広島平和文化図書刊行会	日本評論社	1970

書 名	編 著 者	出 版 者	出版年
戦争をどう教えるか	長洲 一二／編著	明治図書	1970
〈八月六日〉を描く：作品集		文化評論出版	1970
沈黙の壁をやぶって	長崎県教職員組合長崎総支部／編	労働旬報社	1970
もういやだ：原爆体験記	長崎原爆青年乙女の会	あゆみ出版社	1970
長崎の証言 1970	長崎の証言刊行委員会	あゆみ出版社	1970
東京被爆記	朝日新聞社／編	朝日新聞社	1971
ヒロシマ：米国返還被爆資料から		中国新聞社	1973
東京大空襲・戦災誌 1～5巻	「東京大空襲 戦災誌」編集委員会／編集	東京空襲を記録する会	1974
血であがなったもの：鉄血勤皇師範隊	大田 昌秀／著	那覇出版社	1977. 6
つしま丸のそうなん	金沢 嘉市／編著	あすなろ書房	1978
捕虜になるまで	沖縄子どもと教師の文学の会／編	ポプラ社	1978
かわいそうな ぞう	つちや ゆきお／ぶん	金の星社	1978
満蒙開拓青少年義勇軍	上 笙一郎／著	中央公論社	1979
満蒙開拓の手記	NHK長野放送局／編	日本放送出版協会	1979. 8
日本の空襲 1～10巻（北海道～沖縄・資料）	日本の空襲編集委員会	三省堂	1980. 7
凍土の碑：痛恨の国策満州移民	陳野 守正／著	教育報道社	1981. 12
はだしのゲン 1～7巻	中沢 啓治／著	汐文社	1982
ひめゆりの塔をめぐる人々の手記	仲宗根 政善／編著	角川書店	1982. 4
沖縄の悲哭	牧港 篤三／詩 儀間比呂志／版画	集英社	1982. 6
きけわだつみのこえ	日本戦没学生記念会編	岩波書店	1982. 7
戦争体験	「人生読本」編集部	河出書房新社	1982. 6
世紀の遺書	巣鴨遺書編纂会／編	講談社	1984. 8
鉄の暴風	沖縄タイムス社／編	沖縄タイムス社	1980
対馬丸	大城 立裕ほか著	理論社	1982
日本の原爆文学 1～15巻		ほるぷ出版	1983
忠節の果てに：教師の戦時体験記	山形県教職員組合／編	山形県教職員組合	1984

書 名	編 著 者	出 版 者	出版年
長崎原爆の記録	泰山 弘道／著	あゆみ出版	1984. 10
ラーゲルの軍医：シベリア捕虜記	山川 速水／著	北風書房	1984. 11
犬の消えた日	井上 こみち／作 ほか	金の星社	1986. 7
活字の私刑台：暁に祈る事件の真相	池田 重善／著	青峰社	1986. 9
毒ガス島：大久野島毒ガス工場その被害と 加害	広教組三原地区竹原 支区平和教育部会／ 編著	広島平和教育研究 所出版部	1987. 7
南風原陸軍病院	南風原町教育委員会 編	南風原町教育委員 会	1988
観光コースでない沖縄	新崎 盛暉ほか著	高文研	1989. 5
父は沖縄で死んだ：沖縄海軍部隊司令官と その息子の歩いた道	大田 英雄／著	高文研	1989. 6
私は貝になりたい：あるＢＣ級戦犯の叫び	加藤 哲太郎／著	春秋社	1994. 10
幻ではなかった本土決戦	歴史教育者協議会／ 編	高文研	1995. 7
長崎よみがえる原爆写真	ＮＨＫ取材班／著	日本放送出版協会	1995. 8
満州女塾	杉山 春／著	新潮社	1996. 5
ヒロシマの碑	宅和 純／著	広島県教育用品	1996
神奈川県戦争遺跡	神奈川県歴史教育者 協議会／編	大月書店	1996. 6
フィールドワーク松代大本営	松代大本営の保存を すすめる会／編	平和文化	2002. 10
新聞と戦争	朝日新聞「新聞と戦 争」取材班／著	朝日新聞社	2008. 6
東京の戦争と平和を歩く	東京都歴史教育者協 議会／編	平和文化	2008. 7
沖縄の戦跡ブック ガマ	沖縄県高教組教育資 料センター『ガマ』 編集委員会編	沖縄時事出版	2009. 3
戦争遺産探訪 日本編	竹内 正浩／著	文藝春秋	2007. 7
訪ねてみよう戦争を学ぶミュージアム	「記憶と表現」研究会 著	岩波書店	2009. 6
父は、特攻を命じた兵士だった：人間爆弾 「桜花」とともに	小林 照幸／著	岩波書店	2010. 7
画家たちの「戦争」	神坂 次郎／著	新潮社	2010. 7
赤紙と徴兵	吉田 敏浩／著	彩流社	2011. 9
沖縄の戦争遺跡	吉浜 忍／著	吉川弘文館	2017. 7
甦る戦災樹木	菅野 博貢／著	さくら舎	2023. 5

教育図書館のご案内

《利用方法》

開館時間：午前10時～午後4時30分

開館日：（火）・（水）・（木）

✉ toshokan32304437@jec.or.jp

貸出：利用者カードが必要です。

発行の際は、身分証明書をご持参ください。

（貸出冊数5冊 期間3週間）

レファレンス・サービス

当館所蔵の図書・雑誌、教育に関するお問合せはメールにてお願いいたします。

コピー：白黒1枚10円／カラー30円

《特別コーナー》

- 平和資料コーナー

平和教育教材、平和教育実践記録、戦争体験記、平和運動、核兵器廃絶（原発関連を含む）、など

- 日教組刊行物コーナー

日教組教育新聞・教育評論・月刊JTUなど

- 教育総研刊行物コーナー

年報、理論講座、ブックレット、季刊「教育と文化」、各研究委員会報告書など

- 日教組教研全国集会報告書・県教研のまとめ

- 都道府県・高教組史誌、同機関誌

- 文部科学省統計調査報告書・刊行物

学校基本調査、国際比較、教育費、学習指導要領、指導書など

- 海老原治善文庫：元東京学芸大学教授、教育総研初代所長海老原治善氏からの寄贈書

- 鈴木喜代春文庫：児童文学者、元教育相談室相談員鈴木喜代春氏の著作本、寄贈書

- 人権・防災・減災コーナー

人権関係、東日本大震災など災害の記録など

《蔵書について》

- 教育関係図書を中心に和書、和雑誌・新聞・洋書、洋雑誌などを収蔵しています。
- 教育図書館のホームページの蔵書検索の画面から検索できます。

(<https://www.jec.or.jp/tosho>)

《アクセス》

神保町駅 A1出口より徒歩3分

九段下駅 6番出口より徒歩7分

竹橋駅 1b出口より徒歩5分

水道橋駅西口 徒歩12分（JR総武線）

アクセス抜群

神保町駅から3分

802名収容の大ホール



日本教育会館
ツタホール・会議室のご案内
一般財団法人日本教育会館

10～300名
まで使える
会議室(18室)

1階画廊
もご利用できます

一般財団法人日本教育会館
TEL 03-3230-2831
<https://www.jec.or.jp/>
受付時間 9:00～17:00